

健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート活動

小山内豊彦、古川照美、川内規絵、大西基喜、藤本幸男

Key Words ①健やか力 ②検定 ③ヘルスリテラシー

I. はじめに

青森県が平成26年度、27年度に実施した『健やか力検定』を引き継ぎ、本学学生及び青森市内の大学生を対象として同検定を実施することを目的として、平成28年度に立ち上げた「ヘルスリテラシー向上部」が中心となり、県民のヘルスリテラシーの向上に資する活動を行っている。今年度は、コロナ禍で、各種健康測定など対面の活動は実施できなかったが、『健やか力検定』に初めてオンライン方式を導入し、「会場」と「オンライン」のハイブリッド方式で検定を実施したところである。

II. 目的

1. 「ヘルスリテラシー向上部」に参加する学生が教材や検定問題を作り上げていくことにより、将来、青森県民のヘルスリテラシー向上を支える人材の育成に寄与する。
2. 本学学生その他、青森市内の大学生等が『健やか力検定』に合格すべく学習することは学生自身のヘルスリテラシーの向上につながり、ひいては成人期以降の生活習慣病予防に資する。
3. 本活動を通して『健やか力検定』の内容の検証を行い、県民向けの更なるヘルスリテラシー向上につながる検定の知見を得ることができる。

III. 活動方法

「ヘルスリテラシー向上部」部員や教員により、10月～11月にかけて『健やか力検定』の問題を作成し、12月11日に本学及び青森大学において会場検定を実施した。

また、古川教授を中心として、10月～11月にかけてオンライン試験システムの構築を有限会社トコシエの協力を得て行い、12月11日にオンライン検定を実施した。

IV. 活動結果

1. 5月13日に部員45名が参加し、「ヘルスリテラシー向上部」総会を開催した。
2. 部員や教員が参加し、10月から11月にかけて『健やか力検定』問題（「生活習慣編」）の作成を行った。
3. 12月11日、本学及び青森大学を会場として、『健やか力検定』を実施した。併せて同日オンライン検定を行った。

受検者数は会場検定が80名（本学32名、青森大学48名）で、受検者のうち正解率60%以上の合格者は69名（合格率は86.3%）、平均得点は74.6点であった。

また、オンライン受検者は57名（本学2名、青森大学4名、青森公立大学1名、弘前大学4名、弘前医療福祉大学4名、秋田看護福祉大学40名、一般2名）で、合格者は46名（合格率80.7%）、平均得点は72.2点であった。

V. 考察

本年度は「ヘルスリテラシー向上部」活動の6年目であったが、コロナ禍の中にあって、予定していた活動をほとんど実施することができなかった。しかしながら、昨年度来の課題となっていた、オンライン方式での検定を試行的ではあるが実施することができ、57名の参加者があったことは今後、仮にコロナ禍の下でも、より受検者の対象範囲を広げて、かつ機動的に『健やか力検定』を実施する基盤が整ったのではないかと自負しているところである。

最後に、青森大学の会場における検定の実施に多大なる御協力を賜った、青森大学社会学部清川繁人教授、また、オンライン試験システムの構築に尽力いただいた有限会社トコシエ（千葉県柏市）代表の榎戸重記様、併せて、準備期間が短かった中で、オンライン方式の受検参加に御協力をいただいた、秋田看護福祉大学及び弘前医療福祉大学の関係者の方々に深く感謝申し上げる次第である。



(写真1) 令和3年12月11日「健やか力検定」青森大学



(写真2) 令和3年12月11日「健やか力検定」青森大学